

## 第2回 難民支援と国際理解教育フォーラム



- 日時 2006年11月23日(木・祝日) ■場所 国連大学ビル3階 ウ・タント国際会議場  
■主催 認定NPO法人 日本UNHCR協会 ■共催 UNHCR駐日事務所  
■後援 文部科学省、外務省、独立行政法人国際協力機構、渋谷区教育委員会、(財)アジア福祉教育財団難民事業本部、  
全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会、日本教育新聞社  
■協賛 (株)求龍堂、ソニー(株)、(株)ナイキジャパン、ブリタニカ・ジャパン(株) (株)三省堂

日本UNHCR協会は、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)を民間から支援するための広報・募金活動を目的として、2000年10月に設立されました。2005年、当協会の活動を支えるボランティアによって構成された絵本プロジェクトチームが、6月20日「世界難民の日」を記念し、絵本『ほんのすこしの勇気から一難民のオレアちゃんが教えてくれたこと』を出版しました。そこで、絵本読者や難民支援関係者が集う機会を設けようと、11月23日にUNHCR駐日事務所との共催による本フォーラムが開催されました。本年は、同じ絵本を題材とした読書感想コンクール入賞作品の発表、UNHCR駐日代表による講演、教育関係者によるパネルディスカッションを通して、さらに難民支援と国際理解などの教育現場が結びつく活動を見出して行きたいと思えます。会場には、読書感想コンクールにご応募いただいた絵手紙40作品が展示されます。

### ■プログラム

12:30	受付開始
12:40~13:00	絵本DVD上映
13:00~13:05	開会挨拶 岸守 一 UNHCR駐日副代表
13:05~13:25	講演「難民と教育」ロバート・ロビンソンUNHCR駐日代表
13:25~13:30	ビデオメッセージ 緒方貞子元国連難民高等弁務官(2005年版)
13:30~14:10	絵本感想コンクール入賞者表彰・作品紹介
14:10~14:20	休憩
14:20~15:50	パネルディスカッション+実践例の紹介 パネリスト: 小藤 俊樹 横浜市立老松中学校教員 佐藤 芳孝 東京都立千早高等学校校長 村上 むつ子 ジャーナリスト/大学講師/サービス・ラーニング・コーディネーター 手塚 義雅 文部科学省初等中等教育局 国際教育課長 宮澤 哲 UNHCR駐日事務所 法務官補佐 司会・進行: 中村 恵 日本UNHCR協会事業部シニア・マネジャー
15:50~15:55	難民の方からのメッセージ(ラム ゴック トリン グエンさん)
15:55~16:00	閉会挨拶 榎川 勝也 日本UNHCR協会 常務理事・事務局長
16:30~17:30	交流会(①教育関係者・②一般・助っ人会員)

### ■パネリスト

小藤 俊樹(ことう としき) 横浜市立老松中学校教員  
社会科教員の立場から各種国際協力団体との協働や教科書などの執筆を行う。また、10年ほど前から参加型学習を取り込んだ人権教育の学習プログラムの編成や社会科学習の実践に取り組む。この成果により昨年度第1回横浜市最優秀教員として表彰される。UNHCR駐日事務所・日本UNHCR協会主催の教員向けセミナーには第1回と今回参加。

佐藤 芳孝(さとう よしたか) 東京都立千早高等学校校長  
英語とビジネス教育を重視した進学型専門学校として、2004年に開校。聖心女子大学生団体SHRETの協力を得て、2005-06年の選択授業「コミュニティ・デザイン」において、パキスタンのアフガン難民の学生と日本の高校生を結び手紙・ビデオレター交流プロジェクト「虹の架け橋プロジェクト」を実施している。

村上むつ子(むらかみ むつこ) ジャーナリスト/大学講師/サービス・ラーニング・コーディネーター  
米国のニュース雑誌「アジアウィーク」の東京特派員として長く報道活動に従事し、現在は上智大学や国際基督教大学で講師としてコミュニケーション等を担当している。サービス・ラーニング分野では、プログラム・コーディネーターとして学生のサービス活動の実施や体験を学びにつなげるプロセスをサポート

している。

手塚 義雅(てづか よしまさ) 文部科学省初等中等教育局 国際教育課長  
外務省ベルギー日本国大使館一等書記官、総合外交政策局国際社会協力部人権難民課難民支援室長、在象牙海岸共和国日本国大使館参事官、在香港日本国総領事官領事、国内広報課長を経て、2005年7月に文部科学省へ出向。

宮澤 哲(みやざわ さとる) UNHCR駐日事務所 法務官補佐(難民支援担当)  
大学院入学に先んじてNGOのボランティアとしてマケドニアで活動、コソボ難民の子供を受け入れている国境地域の学校復旧事業などに関わる。NGO職員、大学教員及びUNDP職員として東ティモールに4年間赴任を経て2005年1月から現職。

ラム ゴック トリン グエン

17歳の時、ボートでベトナムを脱出し、1989年6月に来日。現在は、(財)アジア福祉教育財団難民事業本部のベトナム語通訳として、日本に定住する難民などの支援を行っている。

フォーラムお問合せ先: 日本UNHCR協会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル(UNハウス)6F

Tel: 03-3499-2450 Fax: 03-3499-2273 E-mail: wrd@japanforunhcr.org URL: www.japanforunhcr.org